

# 京都大学大学院 教育学研究科紀要 第64号

映画による「近代の超克」とその帰趨

インドネシアにおける自律的学校運営が学力に与える影響

デンマークにおける特別なニーズのある若者教育政策の展開

韓国における大学教育の「卓越性」に対する認識

日本における広域型高大連携の有効性に関する検討

G. バタイユにおける内奥性の概念

「苦悩」を引き受けるということ

西田哲学における「自覚」

非人称のエス

経験の媒質としての言語

概念に媒介される教育的関係性

「遊び」をめぐる一試論

心理臨床の専門性をめぐる概観と特殊性

「出あい」とその臨床性について

心理療法過程で生じる夢の中の他者、物、場所の役割

室内画研究の概観と展望

# 京都大学大学院 教育学研究科紀要 第64号

## 目 次

### 論 文：

映画による「近代の超克」とその帰趨……………	花田 史彦	1
- 映画評論家・津村秀夫の戦後 -		
インドネシアにおける自律的学校運営が学力に与える影響……………	島田健太郎	15
- PISA を用いたマルチレベル分析 -		
デンマークにおける特別なニーズのある若者教育政策の展開……………	池田 法子	29
- 特別計画若者教育 (STU) を中心に -		
韓国における大学教育の「卓越性」に対する認識……………	全 京和	43
- 「学部教育先導大学育成事業」の評価・成果指標を手がかりに -		
日本における広域型高大連携の有効性に関する検討……………	西川 潤	57
- 教育ネットワーク中国による高大連携事業からの知見 -		
G. バタイユにおける内奥性の概念 ……………	森 亘	71
- 超越した世界の当たり前化をめぐる -		
「苦悩」を引き受けるということ ……………	嵩倉 美帆	85
- 神谷美恵子の思想に着目して -		
西田哲学における「自覚」……………	土井 将人	97
- 〈自覚せしめる動員〉との関係 -		
非人称のエス……………	後藤 悠帆	111
- フロイト精神分析における理論と実践のずれをめぐる -		
経験の媒質としての言語……………	浅井 健介	125
- 初期ベンヤミンにおける「経験の貧困」問題と「来るべき哲学」の構想 -		
概念に媒介される教育的関係性……………	松枝 拓生	139
- ジル・ドゥルーズの「口さがない批評家への手紙」に着目して -		
「遊び」をめぐる一試論 ……………	皆本 麻実	153
- 民族・社会・宗教との関連から -		
心理臨床の専門性をめぐる概観と特殊性……………	鈴木 優佳	165
- 実践の内側からみる専門性に着目して -		
「出あい」とその臨床性について ……………	岩井 有香	179
- その意味ともたらずもの探求 -		
心理療法過程で生じる夢の中の他者、物、場所の役割……………	粉川 尚枝	193
室内画研究の概観と展望……………	西 珠美	207
- 家屋の持つイメージに着目して -		
心理臨床における声に着目する意義……………	山崎 基嗣	221
心理臨床学における象徴の概念とその機能について……………	大場有希子	235
- 象徴形成のプロセスに着目して -		

ロールシャッハ法における不安の再考……………	元木 幸恵	249
- 解釈仮説の検討から -		
心理臨床家養成課程でクライアントの自殺に関する準備教育を行う意義……	藤居 尚子	263
- 精神科研修医を対象にした実践報告の概観をふまえて -		
児童相談所の役割変遷と課題……………	佐々木大樹	277
認知行動療法における身体性をめぐり一考察……………	鍛冶 美幸	291
面接空間に生起する相互交流についての一考察……………	高澤 知子	303
- 逆転移としての身体感覚について対象関係論の視点から考える -		
ロールシャッハ法における父親イメージカード選択過程の検討……………	石井 佳葉	317
- 青年期女性の父親イメージに着目して -		
箱庭療法の治癒的要因の概観と展望……………	不破早央里	331
- 「力動」と「プロセス」の観点から -		
風景構成法の彩色過程における心理療法的側面について……………	清重 英矩	345
- やりとりの視点から -		
暗黙の知を再び語ることの意義……………	堀 雄紀	359
- 身体技法の伝承場面を手がかりに -		
R.W. バイビーの5E 指導モデルに関する検討……………	大貫 守	373
- R. カープラスの学習サイクルとの比較を通して -		
協働的な学習に関する類型論の到達点と課題……………	福嶋 祐貴	387
- 協同学習・協働学習に基づく実践の焦点化と評価のために -		
Charles B. Corbin の体育理論に関する一考察……………	徳島 祐彌	401
- フィットネス教育と情意形成に着目して -		
講義への取り組み方とアクティブラーニングへの取り組み方に基づく学生タイプの検討 ……………	小山 理子	415

## 資 料：

研究費……………		429
プロジェクト活動		
教育実践コラボレーション・センター……………		433
博士論文……………		437
修士論文……………		438
卒業論文……………		440
執筆者一覧……………		443
京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程……………		444

“Overcoming Modernity” by Film and its Consequences: Tsumura Hideo, Film Critic in Post-war Japan	..... HANADA Fumihiko	1
Influence of School-Based Management on Student Achievement in Indonesia: Multilevel Analyses Using PISA Surveys	..... SHIMADA Kentaro	15
Development of Education Policy for Young People with Special Needs in Denmark: Focusing on Specially Planned Youth Education (STU)	..... IKEDA Noriko	29
Perception of Excellence of Undergraduate Education in Korea: Focusing on Evaluation and Performance Indicators of the Advancement of College Education Project	..... JEON Kyoung-hwa	43
The Study of Effectivity of Wide-Area Type Cooperation between High Schools and Colleges: From the View of the Case of Education Network in the Chugoku Area’s Project	..... NISHIKAWA Jun	57
The Concept of Intimacy in the Thoughts of G. Bataille: Around “The World Regards Transcendence as Natural”	..... MORI Wataru	71
To Take “Suffering” with the Thoughts of Mieko Kamiya	..... TAKAKURA Miho	85
“Self-awareness” in the Philosophy of Kitaro Nishida and the Mobilization of People in World War II	..... DOI Masato	97
Impersonal Es: On the Gap between Theory and Practice in S. Freud’s Psychoanalysis	..... GOTO Yuho	111
Language as a Medium of Experience: Early Benjamin’s “Program of the Coming Philosophy” as a Response to “Poverty of Experience”	..... ASAI Kensuke	125
Educational Relationships Mediated by Concepts: A Consideration of Gilles Deleuze’s “Letter to a Harsh Critic”	..... MATSUE Takuo	139
An Essay around “Play” : Its Connection with Society, Folklore and Religion	..... MINAMOTO Asami	153
Overview and Specialty of Clinical Psychology Expertise: Focusing on Expertise Based on Clinical Practice	..... SUZUKI Yuka	165

Characteristics of “Deal” in Clinical Psychology: Exploration of its Meaning and Impact on Relationship between Teacher and Student	..... IWAI Yuka	179
Role for Other People, Things, and Places in Dreams Appearing in the Course of Psychotherapy	..... KONAKAWA Hisae	193
Overview and Prospects of Studies on Room-Drawing-Test: Considering Image of a House	..... NISHI Tamami	207
The Significance of Focusing Attention on Voice in Psychotherapy	..... YAMASAKI Motoshi	221
A Study on the Concept and Function of Symbol in a Psychological Point of View: Focusing on the Process of Symbol Formation	..... OBA Yukiko	235
Reconsidering Anxiety in the Rorschach Method: An Analysis of Interpretation Hypothesis	..... MOTOKI Sachie	249
Significance of Preparatory Education on Client Suicide at Psychotherapist Training Courses: Based on Review of Practical Reports for Psychiatric Residents	..... FUJII Naoko	263
Roles and Issues of Child Guidance Centers	..... SASAKI Daiki	277
Paradigm Shift Concerning Embodiment in Cognitive Behavioral Therapy	..... KAJI Miyuki	291
Interaction Between Therapist and Client During Interviews: Considering Sensations as Counter-transference from the Viewpoint of Object-relations theory	..... TAKAZAWA Tomoko	303
Selection Process about Father Image Card in Rorschach Method: Focusing on Adolescent Women’s Father Image	..... ISHII Kayo	317
Overview and Prospects of Therapeutic Factors in Sandplay Therapy: Focusing on Psychodynamics and Process	..... FUWA Saori	331
On Psychotherapeutic aspect in the Painting Process of Landscape Montage Technique: From the Viewpoint of Interaction	..... KIYOSHIGE Hidenori	345
Significance of Narrative about Tacit Knowledge: With Reference to the Transmission of Body Techniques	..... HORI Yuki	359

Examination of R. W. Bybee's 5E Instructional Model: Comparison with R. Karplus' Learning Cycle model	.....	ONUKI Mamoru	373
Achievements and Challenges of Typology of Peer Learning: Assessment in Practices Based on Cooperative Learning and Collaborative Learning	.....	FUKUSHIMA Yuki	387
Research on Charles B. Corbin's Physical Education Theory: Affective Development in Fitness Education	.....	TOKUSHIMA Yuya	401
Classification of Student Groups Based on Students' Ways of Engagement in Lectures and Active Learning	.....	KOYAMA Ayako	415

研 究 費

研 究 費

年月日	研 究 課 題 名	氏 名
H29.4.1	新学術領域研究（研究領域提案型） 物語における時間認識の身体・神経基盤	米田 英嗣
H29.4.1	新学術領域研究（研究領域提案型） オープン・データを活用した思春期・青年期・成人期早期における主体価値の諸相の解明	高橋 雄介
H29.4.1	基盤研究（A） 学校を中心とする教育空間における力動的秩序形成をめぐる多次元的研究	桑原 知子
H29.4.1	基盤研究（A） Understanding, measuring, and promoting crucial 21st century skills: Global communication, deep learning, and critical thinking competencies	Manalo Emmanuel
H29.4.1	基盤研究（A） 身体的表象から自他分離表象にいたる発達プロセスの解明	明和 政子
H29.4.1	基盤研究（B） パフォーマンス評価を活かした教師の力量向上プログラムの開発	西岡加名恵
H29.4.1	基盤研究（B） 戦後東アジア諸地域における教育の比較的分析－冷戦と植民地主義に着目して－	駒込 武
H29.4.1	基盤研究（B） 21世紀型コンピテンシー育成のためのカリキュラムと評価の開発	矢野 智司
H29.4.1	基盤研究（B） 「メディア出身議員」調査による新しいメディア政治史の構想	佐藤 卓己
H29.4.1	基盤研究（B） 東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究	岩井 八郎
H29.4.1	基盤研究（B） なつかしさ感情の機能と個人差：認知・神経基盤の解明と応用	楠見 孝
H29.4.1	基盤研究（B） 戦後日本における政治家・財界人の教育観に関する教育社会学的研究	稲垣 恭子
H29.4.1	基盤研究（B） 後発国における大学院教育及び学位制度の導入と変容に関する比較研究	南部 広孝
H29.4.1	基盤研究（C） ＜レジリエントな個＞の育成とアメリカ実践哲学：哲学と教育のクロスカレント研究	齋藤 直子
H29.4.1	基盤研究（C） 共感の個人差を形成する文化・心理・生物学的要因に関する認知科学的研究	野村 理朗
H29.4.1	基盤研究（C） 公立図書館という空間に関する歴史横断的研究	川崎 良孝
H29.4.1	基盤研究（C） ケアとスピリチュアリティの教育人間学的解明 - 女性宗教者への聞き取り調査を中心に	西平 直
H29.4.1	基盤研究（C） 学習アーキテクチャとしての「記憶空間」の形成原理および問題改善の研究	山名 淳
H29.4.1	基盤研究（C） トランスナショナル高等教育と多国籍大学の展開に関する国際比較研究	杉本 均
H29.4.1	基盤研究（C） 音韻的作動記憶における系列情報保持を支える時間構造の長期知識	齊藤 智

H29.4.1	基盤研究 (C) 資質・能力を育てる授業デザインと教師の力量形成に関する開発研究	石井 英真
H29.4.1	基盤研究 (C) 心理アセスメントにおけるスーパーヴィジョンシステムの構築	高橋 靖恵
H29.4.1	基盤研究 (C) ＜哲学の女性性＞とアメリカ哲学のグローバルな再生：政治教育の実践哲学研究	齋藤 直子
H29.4.1	基盤研究 (C) 教師力（タクト）熟達の日独比較－学校日常の緊急性・不確実性対処に関する実証研究	鈴木 晶子
H29.4.1	基盤研究 (C) 森有礼文部大臣時代の教育政策に関する総合的研究－「森文政」期像の再構築－	田中 智子
H29.4.1	基盤研究 (C) 「立ち直り」概念の理論的検討をふまえた非行少年の社会復帰プロセスに関する研究	岡邊 健
H29.7.18	基盤研究 (C) 特設 紛争の発生とその緩和に関わる人間本性の理解－心理・神経・遺伝学的研究－	野村 理朗
H29.4.1	若手研究 (A) 遺伝子多型と社会環境の相互作用が子どもの実行機能の発達とその脳内機構に及ぼす影響	森口 佑介
H29.4.1	若手研究 (B) ナショナリズムと「文明的」自己像形成をめぐる現象の比較・歴史社会学的考察	竹内 里欧
H29.4.1	若手研究 (B) 小学校外国語活動において言語への関心を高めるための多言語カードの開発と効果の検証	黒田真由美
H29.4.1	若手研究 (B) 物体操作を介した心的状態の推定	橋本 敦史
H29.4.1	若手研究 (B) 文章の読み過程の包括的検討と読み支援手法の開発	田中 哲平
H29.4.1	若手研究 (B) 近世教育メディア史における「無料」の価値－「施印」に着目して	ファンステーン パール ニールス
H29.4.1	若手研究 (B) Is An Alternative Concept of Learning Driving East Asian Academic Achievement? Comparisons of PISA Performance with Implications for Policy Reforms	Rapplee Jeremy
H29.10.1	若手研究 (B) 宗教を取り入れた道徳教育による人間形成の理論と実践に関する研究	広瀬 悠三
H29.4.1	挑戦的萌芽研究 「夢の構造分析」に関する発達の・比較文化的・心理臨床的研究	田中 康裕
H29.4.1	挑戦的萌芽研究 学校改善に向けた「往還型」質的測定手法の開発的研究	服部 憲児
H29.4.1	挑戦的萌芽研究 文化装置としての「師弟関係」に関する歴史社会学的研究	稲垣 恭子
H29.4.1	挑戦的萌芽研究 誤報記事と新聞批判のメディア史的研究	佐藤 卓己



## 研 究 費

H29.4.1	挑戦的萌芽研究 評定尺度法に対する回答の個人差と集団差を同時補正するための新たな方法の開発と評価	高橋 雄介
H29.6.30	挑戦的研究（萌芽） 子どもの直観像に関する発達認知神経科学的研究	森口 佑介
H29.4.1	研究活動スタート支援 インドにおける大学入学者選抜制度の研究－全国統一型試験の動向に着目して	渡辺 雅幸
H29.8.25	研究活動スタート支援 他者のネガティブ感情に対する効果的な制御方略の解明	野崎 優樹
H29.8.25	研究活動スタート支援 高大接続における制度構築の可能性と課題－米国のAPに注目して－	郭 暁博

教育実践コラボレーション・センター  
「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究を目指して」

〈活動概要〉

平成 19 年度から教育学研究科では特別教育研究経費（教育改革）による「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究推進事業」のプロジェクトが立ち上げられ、教育実践コラボレーション・センターとして、さまざまな活動をおこなってきている。

教育実践コラボレーション・センターの目的は、現場から持ち込まれた具体的な問題に対し、異分野融合チームを組織するなどして、教育学研究科としての組織的な対応をコーディネートすることにある。その際、子どもをめぐる教育問題の中心を「生命性を深めること」（心の問題）と「有能性を高めること」（学力問題）という 2 つの軸として取り出し、そのトータルな育成の方法を探る。また、教育研究におけるマクロ的アプローチ（教育制度学や教育社会学や比較教育学）とミクロ的アプローチ（認知心理学や心理臨床学や教育哲学）を統合しつつ研究を進めている。

平成 25 年度からは科学研究費補助金（基盤研究 A）が採択され、「学校を中心とする教育空間における力動的秩序形成をめぐる多次元的研究」を課題とし、活動している。現在、校内暴力、不登校、学級崩壊、いじめなどの報道が毎日のようにみられる。そしてこれらは、学校教育の秩序を揺るがす問題だと定義され、それへの対応として、秩序から逸脱した人や状態をどのように秩序の中に回収するのか、乱れた秩序をどのように再び平衡に戻すのかということが考えられてきた。しかしながら現在、この前提が崩れはじめ、学校のみならず、地域・社会、家庭においても、これまでの秩序にもどせばいい、という発想ではうまくいかなくなっているのが現状ではないだろうか？グローバル化や電子メディア空間の影響もあって、既存の秩序への再編という戦略がもはや無効になっていると言っても過言ではないように思う。そこで、今回の研究課題においては、学校、地域・社会、家庭、電子空間といった複数の空間での人々の相互作用の在り方を解明し、秩序のゆらぎがどのようなものであるかを明らかにするとともに、その中で、どのような秩序が動的に、新たに、立ち上がってくるのかということを探求しようと考えてきた。

本年度は、本研究の最終年度となり、これまでの研究やアウトリーチ活動を継続するとともに、これまでのアプローチから得られた知見を集約し、外部へと発信することに取り組んできた。また、今回得られた知見や経験をもとに、新しい課題を見出し、「AI 時代における教育・社会パラダイムの探究」というテーマを策定した。また、教育実践コラボレーション・センターの一組織である E.FORUM（教育研究開発フォーラム）は、現職教員の力量向上のために、研修やセミナーを提供するとともに、学校現場の課題解決に資するための研究開発を推進するネットワーク構築をめざしている。

〈講演会・シンポジウム・ワークショップ〉(2017年4月1日～2018年3月31日)

第21回 知的コラボの会

「京都大学が京都にある理由」

- 日時：2017年4月27日(木) 13時30分～15時30分
- 会場：京都大学教育学部本館1階 第1会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：田中智子(京都大学)

第22回 知的コラボの会

「情報へのアクセスに関する権利保障と図書館思想」

- 日時：2017年6月22日(木) 16時～18時
- 会場：京都大学教育学部本館1階 第1会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：福井佑介(京都大学)

E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修

- 日程：2017年8月18日(金)、19日(土)
- 会場：京都大学吉田キャンパス 国際高等教育院棟 講義室31ほか
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 講師：山ノ内裕子(関西大学)、鋒山泰弘(追手門学院大学)、小山英恵(鳴門教育大学)、赤沢真世(大阪成蹊大学)、八田幸恵(大阪教育大学)、矢野智司(京都大学)、岩井八郎(京都大学)、南部広孝(京都大学)、山名淳(京都大学)、服部憲児(京都大学)、北原琢也(京都大学)、西岡加名恵(京都大学)、石井英真(京都大学)、大貫守(京都大学院生)、徳島祐彌(京都大学院生)、中西修一朗(京都大学院生)、

ワークショップ「第14回野童いなか塾 童仙房ミュージアム～里山あそび～」

- 日時：2017年8月19日(土) 13時30分～16時30分
- 会場：旧野殿童仙房小学校・周辺散策路野殿(童仙房生涯学習センター)
- 主催：野殿童仙房生涯学習推進委員会、教育実践コラボレーション・センター
- 観察指導：NPO法人自然観察指導員京都連絡会

第23回 知的コラボの会

「少年犯罪をどうみるかー近年の実証研究の知見を中心にー」

- 日時：2017年10月12日(木) 15時～17時

プロジェクト活動：教育実践コラボレーション・センター

- 会場：京都大学教育学部本館 1 階 第 1 会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：岡邊健（京都大学）

E.FORUM 学力評価スペシャリスト研修（第 1 回フォローアップ研修）

- 日時：2017 年 10 月 21 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
- 会場：京都大学吉田キャンパス 総合研究 2 号館地下 1 階（第 8 演習室）
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 講師：西岡加名恵、石井英真、北原琢也、盛永俊弘、田中容子（いずれも京都大学）

北京師範大学・京都大学院生学術交流 2017

- 日時：2017 年 11 月 17 日（金）～20 日（月）
- 会場：中国・北京師範大学
- 主催：中国・北京師範大学教育学部、教育実践コラボレーション・センター

E.FORUM 学力評価スペシャリスト研修（第 2 回フォローアップ研修）

- 日時：2017 年 12 月 16 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
- 会場：京都大学吉田キャンパス 総合研究 2 号館地下 1 階（第 8 演習室）
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 講師：西岡加名恵（京都大学）、石井英真（京都大学）、北原琢也（京都大学）、盛永俊弘（京都大学）、田中容子（京都大学）

第 24 回 知的コラボの会

「教育・学習データの利活用における国内外の研究動向と課題」

- 日時：2017 年 12 月 21 日（木）15 時～17 時
- 会場：京都大学教育学部本館 1 階 第 1 会議室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：緒方広明（京都大学）

ワークショップ「第 15 回野童いなか塾 減災懇話会～中山間地での水害に備える～」

- 日時：2018 年 2 月 17 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
- 会場：旧野殿童仙房小学校（野殿・童仙房生涯学習センター）
- 主催：野殿童仙房生涯学習推進委員会、教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：小滝篤夫（京都府立大学）

公開シンポジウム

「現代社会に求められる新たな秩序を考える」

- 日時：2018年3月3日（土）13時30分～17時00分
- 会場：京都大学芝蘭会館 稲盛ホール
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 登壇者：岸田蘭子（高倉小学校）、山名淳（東京大学）、大山泰宏（放送大学）、桑原知子（京都大学）、西平直（京都大学）、西岡加名恵（京都大学）、南部広孝（京都大学）
- 司会：服部憲児（京都大学）

第25回 知的コラボの会

「発達と格差」

- 日時：2018年3月15日（木）13時～15時
- 会場：京都大学教育学部 総合研究2号館 第8演習室
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 話題提供：森口佑介（京都大学）

E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修

「第13回実践交流会」

- 日時：2018年3月24日（土）10時～16時
- 会場：京都大学吉田キャンパス吉田南総合館東棟（共東12）
- 主催：教育実践コラボレーション・センター
- 発表：北原琢也（京都大学）、花岡由美子（大阪市立小林小学校）、岩佐亜子（京都市立洛南中学校）、岩見理華（神戸大学附属中等教育学校）
- 司会：西岡加名恵（京都大学）、石井英真（京都大学）

## 平成 29 年度 学位（博士）授与者及び題目一覧

課程博士 ※平成 30 年 3 月授与まで

氏 名	論 文 題 目
山 本 一 成	保育環境における意味と価値の探求 — 保育実践へのエコロジカル・アプローチ —
羽 山 裕 子	アメリカ合衆国の学校教育における学習障害児支援体制の模索 — 「介入指導への応答 (Response to Intervention)」の到達点と課題 —
時 岡 良 太	心理臨床における「自分」に関する研究
門 前 斐 紀	「表現愛」の人間学—木村素衛教育学における身体論の系譜
今 福 理 博	乳幼児における言語獲得と社会的認知の発達の関連についての実証的検討
里 村 生 英	音楽経験を通じたスピリチュアルケア — ミュージック・サナトロジーの検討を通して —
樫 村 通 子	心理療法における「イメージと言語」の対話に関する研究 — 風景構成法を中心に —
TOPACOGLU HASAN	戦後日本における近代化の記憶と「場」の揺らぎ — メディア・イベント「明治百年祭」(1968)を例に —
村 井 雅 美	最早期の疾病と「関係の相互性」に関する心理臨床学研究 — 精神分析的アプローチからの理解 —
根 本 真 弓	対象関係論的心理療法から捉えた青年期女性の分離体験
伊 藤 俊 樹	「自我のための退行」に関する心理臨床学的研究 ～ロールシャッハ法 及び 「なぐり書き (Mess Painting)」法を通して～
松浦(新居)みちる	うつ病者の回復過程に関する心理臨床学的研究 — 集団芸術療法の視点から —
関 口 洋 平	ベトナム高等教育における構造改革の論理 — 国家と党による大学への関与 —
井 上 慧 真	「成人期への移行」支援に関する日英比較研究 — 社会関係資本の観点から —
上 田 勝 久	精神分析的な心理療法における行き詰まりと治療機序 — パーソナリティ障害をめぐって —
鈴 木 優 佳	心理臨床の専門性に関する一研究 — 聴き手の内的体験過程の検討を通して —
市 村 賢士郎	学習課題遂行場面における動機づけの変化
栴 田 恵	幼児期における表情の理解と意図的な表出
小 山 理 子	アクティブラーニング型授業の学習成果に関する研究
岡 隆之介	感情比喩の理解と産出の特性
松 下 佳 弘	戦後の在日朝鮮人教育行政の展開 (1945—55 年) — 在日朝鮮人と地方自治体の関係 —
斎 藤 有 吾	学士課程教育における高次の統合的な能力の評価とその変容に寄与する学習者要因の検討 — コースレベルの直接評価と間接評価の統合 —

修士論文題目一覧

氏名	論文題目
柿本 明日香	英国継続教育教師におけるデュアルプロフェッショナルリズム
武田 佳子	大学生のリーダーシップ自己効力感に関する研究 —時間と社会性の関係に着目して—
鳥原 悠人	学校日常における教育文化の形成 —ほめること・叱ることをめぐる歴史人類学的考察—
成戸 洋介	幼児期の自立排泄支援方法の開発 —大規模実態調査による検討—
長谷川 陽平	通信制高校教育におけるサポート校の位置付け —現行制度の課題と認定制度の必要性の検討—
長谷部 育恵	学習教材における知覚的流暢性が学習者の認知・行動に及ぼす影響
湊本 佑也	高橋俊三の音声言語教育論に関する一考察
吉原 南海	住民による地域再評価プロセス —京都府旧美山町北集落の地域づくりを事例に—
佐藤 完治	社会人基礎力とその関連要因に関する考察 —「ワーキングパーソン調査」の2次分析に基づいて—
磯邊 菜々	読書感想文をめぐる言説空間の社会学的研究 —青少年読書感想文全国コンクールを題材に—
市川 和也	H. v. ヘンティツヒのカリキュラム論に関する検討
桑原 綾	家庭および地域社会が幼児教育施設の質向上に果たす役割 —日本と中国を事例に—
佐野 和子	女性のスキル形成と職業的キャリアに関する研究 —資格取得の計量社会学的分析—
白井 皓大	まちづくりにおける社会教育の現代的意義と可能性 —京都府「ろばた懇談会」の再検討から—
菅谷 尚平	子ども・子育て支援新制度の策定過程分析 —乳幼児期の非認知能力に関する議論に着目して—
趙 相宇	対日感情をめぐる記念日の記憶：三・一節と八・一五光復節から
難波 崇文	私立大学の廃校にともない求められる転学支援 —支援の制度的充実とその限界—
西端 和志	同性愛者への拒絶感の低減：感染の生起確率認知へのアプローチ
西山 慧	再生潜時を用いた記憶の意図的な抑制メカニズムの検討
松尾 理也	昭和戦前期『大阪時事新報』の日本主義化—二流紙、からみた新聞統合
松永 倫子	When human mothers recognize others: The effects of breastfeeding and oxytocin for perceiving and recognizing facial expressions

平成29年度修士論文

溝口 侑	大学生のキャリア意識とロールモデルの関係
森本 和寿	アメリカの大学における作文教育 —ピーター・エルボウの所論に焦点を合わせて—
山本法子	対人場面における批判的思考の抑制要因の検討
AKHTER MAKSODA	Word learning and its cognitive mechanisms in human children —Comparison between monolingual and bilingual children
WANG YUEYUE	現代中国における妊娠・出産期女性の学習課題
呉 桐	近代中国におけるモダンガールイメージの形成 —女性向け広告と女性誌『玲瓏』を中心に—
張 潔麗	中国における応用技術型高等教育機関の転換に影響を及ぼす要因に関する研究
李 夢迪	『週刊TVガイド』の読者分析からみる女性の視聴行動の変容
津田 彩乃	Development of new measurements to understand the emotion awe
山口 刀也	基地と生活綴方 —1950年代前半岩国における恩田操の実践に着目して—
大澤 尚也	セクシュアル・マイノリティ当事者におけるジェンダー観・自己観の様相
小谷田 裕美子	修行における「日常性」の問題 —後期西田哲学の「平常底」の立場を介して
豊原 響子	樹木画のPDIと回想からみた老年期心性についての一考察
文山 知紗	風景構成法からみる発達障害的心性 ～中学生におけるSR - AQJ および主体性得点と描画の関連性～
渡部 智行	自己愛と抑うつ視点からみた現代大学生のアバシー傾向の構造 —ロールシャッハ・テストを用いて—



卒業論文題目一覧

氏名	論文題目
東 和香奈	戦後日本における女性の下着に関する考察
足立 洸 稀	林野滋樹の英語教育論に関する一考察 —英文法の指導に焦点を合わせて—
伊藤 康 太	スピノザの決定論における偶然性と自由について
井上 一 騎	他者としての環境の声 —ディープ・エコロジーの再考—
大島 湧 平	世界の内で住まい、さすらう人間 —感性的思考を目指して—
加藤 里 奈	自他の対立を超える超越へ —レヴィナスの「享受」と「女性的なもの」を手がかりにして—
鎌田 祥 輝	板倉聖宣の仮説実験授業に関する一考察 —科学観と科学教育観を手がかりに—
進藤 梨紗子	神戸伊三郎による理科学習の理論と実践
寺坂 翔 平	視覚言語としての手話と情念 ——ルソー『言語起源論』を手がかりに
野村 亮 太	人間的指導としての師弟関係 —「教える-学ぶ」関係の再考—
服部 遥	西田幾多郎における「学問道徳」 —学問を取り巻く環境を通じた考察
濱崎 祐 稀	探求の共同体で行う道徳教育 —リップマンの思想の検討—
林 英 明	教育における理性主義の批判的検討 —『啓蒙の弁証法』を手がかりに—
福井 駿 平	私たちはどうすれば幸福を追求できるか —J.S. ミル『自由論』についての一考察
三毛 萌 花	勝部真長の道徳教育論に関する検討
水野 達	逆説的な行為としての自己毀損 —G. バタイユを手がかりに—
宮本 誠 洋	中内敏夫の学力モデル論に関する一考察 —「習熟」の位置づけに焦点を合わせて—
山田 恭 平	1950年代の中学社会科教科書における歴史叙述の研究 —『時代と生活』と遠山茂樹とのかかわりを中心に—
山本 匡 哉	塩野直道の数学教育論に関する一考察 —「数理思想」の形成に着目して—
吉田 隆 晃	他なる経験の身体侵食性に関する原理的考察
吉本 睦 実	動詞理解におけるジェスチャーの役割 —幼児を対象とした実証的検討—
小野山 啓 佑	教育における言語の誤解 —後期ウイトゲンシュタインの視座から—

齋藤 堯 仁	学校空間における道徳性への考察 —消費主体に伴う子どもの愛他的性向の変容—
田邊 有貴恵	真船和夫の理科教育論 —生物学教育に関する所論に着目して—
佐々木 文	ダイナミック・タッチの生理学的アプローチ
高田 悠 樹	「静かなる絶望」と読書を通した人間変容 —ソローの『ウォールデン』再読—
見鳥 大 樹	長岡文雄の社会科教育論 —「<この子>の拓く学習法」の追究—
石川 雄 基	接近と回避の習慣的行動の変容に言語が与える影響
市村 晴 香	意思決定時の役割が後悔感情に及ぼす影響
今村 悟 也	青年期における愛着スタイルと時間的展望との関連 —関係固有モデルに着目して—
小林 ひかり	過去の自分からの手紙を読むことによる情緒的体験の検討
坂田 千 文	感情が政治的態度の固執に及ぼす影響に関する研究
嶋見 優 希	内的作業モデルの変容について —愛着対象の種類および移行過程に注目して—
助川 桃 枝	Temporal grouping effects on visuospatial Hebb repetition learning
豊田 祥 子	親からの期待に関する研究 —青年の自己肯定意識に注目して—
西村 知 紗	大学生の友人関係における本来感と自己表明の関連
平子 侑里絵	大学生における関係的自己の変化と他者性への心理的態度との関連 —コラージュ制作におけるゆらぎに着目して—
星野 春 香	聴覚障害学生のアイデンティティに関する研究 —「自己」と「集団」に対するイメージを手がかりに—
松本 知 香	箱庭における水の表現に伴う内的体験についての基礎的研究
松本 優 馬	青年期におけるバウムと個人志向性・社会志向性との関連
宮一 愛 美	音楽聴取による気分の変化とパーソナリティ特性との関連
森田 晃 代	カウンセリングにおける声の体験 —自己開示傾向に注目して—
山下 環 奈	大学生・大学院生の心理専門家への被援助行動に至るまでの心的過程 —被援助志向性や心理専門家に対するイメージとの関連に着目して—
渡邊 智 也	短期的な演劇体験が社会的スキルに及ぼす影響に関する実験的検討
番原 基 允	法的知識が処罰志向に及ぼす影響：修復的司法の導入のための検討
松山 航 平	恥感情と自己不一致、自尊感情の関連性
三田 桂 子	大学生の「主観的支え」のリソースと心理的意味生成プロセス —Sense of Coherence (SOC) に着目して—
叶 皓 太	共感と同情からみた、道徳判断過程についての検討

境 明 穂	青年期後期の母子間の「甘え」「甘やかし」 — 家族の親密性からの検討 —
稲 垣 薫	大学生の自己肯定感に影響を及ぼす要因について
青 木 千 浩	世界システムに着目した死刑制度廃止の潮流の分析
足 立 捷 悟	「1984」の教育的意義 — イギリスの事例を通して —
一 山 華 子	学校図書館における図書館の自由と教育的配慮 — 兵庫県西宮市立西宮東高校における『完全自殺マニュアル』の対応をめぐる事例から —
岩 崎 優 美	現代の子ども文庫活動の限界
海 野 裕 平	柔道の持つ伝統性と近代性
岡 村 優太郎	「大学入学共通テスト」の実施に向けた課題
梶 原 菜 穂	オランダにおけるイスラーム系移民の教育の考察 — brede school の取り組みから —
木 村 健 吾	動的相互依存モデルを用いた教育政策導入過程の分析 — シティズンシップ教育を事例に —
木 村 匠 汰	「チーム学校」政策による教職の専門職性の変容
齊 藤 希	シンガポールにおけるアイデンティティ育成をめぐる教育政策 — 英語教育とナショナル・エデュケーションを手がかりとして —
曾根 寄 佳 那	現代における地方暮らしの若者と家族のかたち
高 橋 大 樹	「おやじ」として生きる人々 — 「おやじの会」の調査から —
中 森 達 広	国立大学法人運営費交付金算定・配分ルールの形成過程
船 越 大 地	施設分離型小中一貫校における取り組み促進要因 — 先進事例の検討を通して —
藪 崎 雄 介	「道徳の教科化」の政策形成過程分析 — 政策の窓モデルを用いて —
和 田 尚 也	イギリスの中等教育段階におけるキャリア教育に関する考察
近 藤 健 介	大学中退の要因分析
木 下 尚 哉	現代における若者の消費に関する研究
神 保 里 帆	ピース・ウォールからみる「壁」の存続に関する考察
許 讚 榮	子ども向けメディアに描かれる死の意味とその変容 — 1980年代以降の教育絵本の分析を中心にして —
古 谷 猛	未婚化現象にかんする社会学的考察

## 執筆者紹介

### 執筆者紹介（執筆順）

花田史彦	生涯教育学講座	博士後期課程2回生
鳥田健太郎	日本学術振興会特別研究員	比較教育政策学講座 研究員
池田法子	比較教育政策学講座	博士後期課程3回生
全京和	比較教育政策学講座	博士後期課程3回生
西川潤	日本学術振興会特別研究員	比較教育政策学講座 博士後期課程1回生
森亘	臨床教育学講座	博士後期課程2回生
嵩倉美帆	臨床教育学講座	博士後期課程3回生
土井将人	臨床教育学講座	博士後期課程2回生
後藤悠帆	臨床教育学講座	博士後期課程1回生
浅井健介	臨床教育学講座	博士後期課程3回生
松枝拓生	臨床教育学講座	博士後期課程3回生
皆本麻実	心理臨床学講座	特定助教
鈴木優佳	心理臨床学講座	博士後期課程3回生
岩井有香	心理臨床学講座	博士後期課程2回生
粉川尚枝	心理臨床学講座	博士後期課程3回生
西珠美	心理臨床学講座	博士後期課程2回生
山崎基嗣	心理臨床学講座	博士後期課程2回生
大場有希子	心理臨床学講座	博士後期課程1回生
元木幸恵	心理臨床学講座	博士後期課程1回生
藤居尚子	臨床実践指導学講座	博士後期課程2回生
佐々木大樹	臨床実践指導学講座	博士後期課程1回生
鍛冶美幸	臨床実践指導学講座	博士後期課程3回生
高澤知子	臨床実践指導学講座	博士後期課程3回生
石井佳葉	臨床実践指導学講座	博士後期課程2回生
不破早央里	臨床心理実践学講座	博士後期課程1回生
清重英矩	臨床心理実践学講座	博士後期課程1回生
堀雄紀	教育学講座	博士後期課程3回生
大貫守	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座 博士後期課程3回生
福嶋祐貴	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座 博士後期課程3回生
徳島祐彌	日本学術振興会特別研究員	教育方法学講座 博士後期課程2回生
小山理子	高等教育開発論講座	博士後期課程3回生

※投稿論文数は36件、うち31件の論文を採択した。

# 京都大学大学院教育学部研究科紀要投稿規定

2015.04.14 改訂

2016.05.10 改訂

## (1) 投稿資格

単著論文の場合、執筆者は、本研究科教員・研究員・研修員および博士後期課程1年次以上の大学院生とする。ただし、研究員・研修員については少なくとも受け入れ教員1名の推薦、院生については少なくとも指導教員1名の推薦のある者に限る。

上記の資格をもつ者が年度途中で身分を変更した場合にも、少なくとも前期に在籍すれば、投稿資格をもつ。ただし、身分変更を速やかに届けて、変更後にも紀要編集委員会と連絡が取れる状態にあることを条件とする。以上の条件を満たさない場合には、投稿資格を失う。

共著論文の場合、本研究科教員が第1著者となり、学内外の研究者（修士課程1年次以上の大学院学生を含む）を共著者とするもの、または本研究科研究員が第1著者となり、本研究科教員を共著者とするものに限る。

## (2) 内容

原稿の内容は未発表の学術論文とする。

## (3) 使用言語

原則として自由。ただし、外国人留学生は日本語で投稿すること。

## (4) 原稿枚数

A4用紙で1枚当たり「42字×38行」とし、第1著者が本研究科教員の論文は25枚（本文24枚+アブストラクト1枚）、それ以外の論文は13枚（本文12枚+アブストラクト1枚）を上限とする。外国語論文の枚数もこれに準じる。

## (5) 投稿要領

投稿に際しては、執筆注意事項指定の書式に従い、原稿を締切日までに指定された提出先に提出のこと。

## (6) 投稿・問い合わせ先

紀要編集委員会

## (7) 原稿の掲載の可否

原稿の掲載の可否については、学外の専門家を含む複数の審査委員による査読を元に紀要編集委員が決定する。

## (8) 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権は本研究科に属する。

---

編集委員 西岡 加名恵 松下 姫歌  
福井 佑介 橋本 敦史

---

---

---

平成30年 3月23日 印刷

平成30年 3月30日 発行

発行人 京都大学大学院教育学研究科  
代表者 稲垣 恭子

印刷所 株式会社 北斗プリント社  
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2  
TEL (075) 791-6125

発行所 京都大学大学院教育学研究科  
京都市左京区吉田本町

---

---

# Kyoto University Research Studies in Education

No. 64

Contents

心理臨床における声に着目する意義

心理臨床学における象徴の概念とその機能について

ロールシャッハ法における不安の再考

心理臨床家養成課程でクライアントの自殺に関する準備教育を行う意義

児童相談所の役割変遷と課題

認知行動療法における身体性をめぐる一考察

面接空間に生起する相互交流についての一考察

ロールシャッハ法における父親イメージカード選択過程の検討

箱庭療法の治癒的要因の概観と展望

風景構成法の彩色過程における心理療法的側面について

暗黙の知を再び語ることの意義

R.W. バイビーの 5E 指導モデルに関する検討

協働的な学習に関する類型論の到達点と課題

Charles B. Corbin の体育理論に関する一考察

講義への取り組み方とアクティブラーニングへの取り組み方に基づく学生タイプの検討